

マーケットの動き（2025年1月27日～1月31日）

先週の国内株式市場は、前週末比でTOPIXは上昇した一方、日経平均株価は下落しました。

週前半は、中国企業が発表した低コストAIが米国AI関連企業の脅威になるとの見方から米国でAI関連銘柄が売られた流れを受け、国内でも半導体関連株を中心に売りが広がりました。週後半は、利益確定売りなどもあり上値の重い展開となりましたが、AI関連株の買戻しなどもあり、買いが優勢となりました。

投資環境見通し（2025年1月）

国内株式相場はレンジ内で推移

企業業績については、所得環境の改善に加えて経済対策のプラス効果が期待される一方、半導体サイクルがピークを迎える可能性があることに加えて、米国次期政権の通商政策を巡る先行き不透明感もあり、鈍化するとみています。企業業績に対する慎重な見方に加えて、日銀の利上げ時期が注目される中、国内株式相場は上値の重い展開が予想されます。一方で、断続的な自社株買いから下値も限定的とみられることから、当面の国内株式相場はレンジ内で推移するとみています。

	1月31日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,788.66	1.37%	0.13%	▲0.20%	9.31%
日経平均株価	39,572.49	▲0.90%	▲0.81%	1.20%	9.06%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

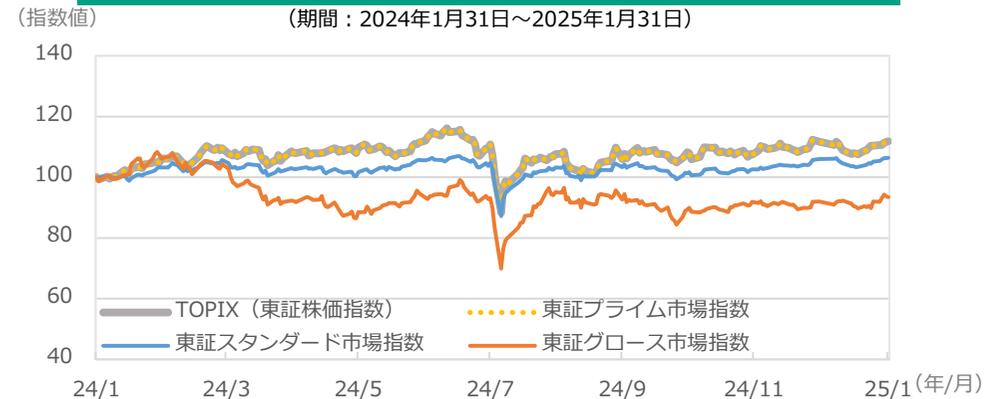
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202501_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



東証市場別指数の推移



※2024年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成